

先生の紹介

名前 大森 拓哉 (おおもり たくや)

職歴

東京大学助手

学生相談カウンセラー

先生の性格

ゼミ生からはよく“てきと一だ!” “いいかげんだ” と言われますが、たぶん、“適切だ” “良いかんじだ” と言う意味でいっているのだととらえています。親切ですが、忘れっばいです。やさしそうに見えますが、腹グロ金魚ちゃんです。他人に厳しく、自分に優しく、をモットーに生きています。ゼミ生にはつらく厳しくあたります。いろいろなことに興味を持ちますが、どれも中途半端です。好きな言葉は「棚からぼた餅」「口からでまかせ」「一攫千金 (いっかくせんきん)」です。面白いことが好きです。そんなの誰でも当たり前です。趣味はスキー、スノボ、スキューバダイビング、テニス、バイオリン、金管楽器などですが、ここ数年どれもやったことがありません。そうです。やはりてきと一なのかもしれません。

具体的な勉強・活動内容 (学外活動も含む)

心理学・統計学・プログラミングの勉強をしながら、人間の心理・行動の仕組みを学んでいきます。人間の行動や心理に関するデータをとり、統計分析をし、プログラミングにより心理・行動実験などを行います。具体的には、心理テストのしくみを学ぶ・体験する、人やものに対する印象・イメージを測る、記憶のしくみを実験により考察する、相手に対する裏切り行為を実験によりシミュレーションする、他人が接近するのを許せる距離を実験により測定する、プログラムを作成してパソコン同士のトランプ対戦をする、自分で部品を集めて自作パソコンを製作する、ブランドにあった CM イメージキャラクターを選定する、ジェットコースターに飴をなめたり特別なことをしたりしながら乗ると怖さが半減するか実験する、お化け屋敷に入る前とあとでは一緒に入った人との親密さが増すか測定する、新聞各社の論調の違いを考察する、仮想空間“セカンドライフ”上でデータを集め、将来予測をする、何人の人と付き合えばより良い相手に巡り会えるか数理・統計的に考察する、などを行いました。週 1 回のゼミと、夏・春休みにゼミ合宿を行います。各学期の最後には、SRC (学内学生発表会) で発表をします。4 年生の時には一人一人テーマで卒業論文を作成します。

アピールポイント

ゼミに入るために必要な能力・知識などはありませんが、多摩大一厳しいゼミを目指しています。